

# 公益社団法人日本新体操連盟

## 平成 29 年度第 1 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 29 年度第 1 回理事会
2. 日時： 平成 29 年 5 月 23 日（火） 18 時 30 分～19 時 45 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32  
「霞会館」
4. 構成員現在数： 15 名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長）石崎 朔子（副 会 長）関田史保子（副 会 長）  
池田真喜子（専務理事）渡辺 守成（常務理事）崇島 慎一（理 事）  
谷口 裕代（理 事）橋本 千波（理 事）宮嶋 泰子（理 事）  
守永 直人（理 事）小島浩二郎（監 事）  
以上 10 名
6. 欠席役員： 福本 隆（副 会 長）山崎 浩子（常務理事）秋山エリカ（理 事）  
岡 久留実（理 事）谷原 誠（理 事）  
以上 6 名
7. 議案：  
決議事項  
第 1 号議案 平成 28 年度事業報告について（定款第 4、36 条、第 4 章関連事項）  
第 2 号議案 平成 28 年度決算報告について（定款第 4、36 条、第 4 章関連事項）  
第 3 号議案 平成 29・30 年度役員について（定款第 3、5 章関連事項）  
第 4 号議案 平成 29 年度第 1 回総会について（定款第 4 章関連事項）  
第 5 号議案 日本体操協会評議員について（定款第 3 条関連事項）  
第 6 号議案 日本新体操連盟表彰について（定款第 4 条関連事項）  
第 7 号議案 その他  
報告事項  
報告事項 1 バッジテストについて（定款第 4 条関連事項）
8. 議事の経過及び結果

### (1) 議長による開会宣言

（公社）日本新体操連盟・定款第 30 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

### (2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を二木会長、小島監事、関田副会長、橋本理事にする事を議場に諮り承認された。

### (3) 定足数の確認

定款第 31 条の定めにより、理事会出席者数が 10 名であることが池田真喜子理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

### (4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、石崎副会長が進行を務めるよう依頼した。

### (5) 議決事項

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告について（定款第 4、36 条、第 4 章関連事項）  
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

#### 1. 平成 28 年度登録状況報告について

平成 28 年度は

加盟団体数	553 団体
登録選手数	8,379 名
愛好者数	29,451 名
審判員数	1,191 名
指導者数	1,431 名

であった。

(質疑・意見)

渡辺常務理事より、現状登録が頭打ちとなっている。クラブ数を増えるような計画案を作らなければならない。チアなど他種目もクラブで教えられるようにして、クラブ経営の安定化を推進するような計画をし、加盟者に提示できるようにならなければならないと意見があり、検討することとなった。

## 2. 各種事業について

「第 25 回全日本新体操クラブ選手権」を 7 月 22 日から 24 日に「千葉ポートアリーナ」にて開催した。参加数は 197 クラブ 591 名であった。

「第 16 回全日本新体操クラブ団体選手権」を 8 月 20 日から 21 日に「東京体育館」にて開催した。参加数は 146 クラブ 902 名であった。

「イオンカップ 2016 世界新体操クラブ選手権」を 9 月 8 日から 11 日に同じく「東京体育館」にて開催した。参加数は 26 か国 31 チームであった。

「第 16 回日本新体操祭」を 9 月 10 日「東京体育館」にて開催した。参加数は 50 クラブチーム 1404 名であった。

「第 19 回全日本新体操チャイルド選手権」「第 16 回全日本新体操キッズコンテスト」を 2 月 24 日から 26 日に「東京体育館」にて開催した。参加数は 397 クラブ 858 名であった。

(質疑・意見)

質疑・意見はなかった。

以上の議事後、第 1 号議案「平成 28 年度事業報告について」は全会一致で承認可決された。

第 2 号議案 平成 28 年度決算報告について（定款第 4、36 条、第 4 章関連事項）  
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 収入はほぼ予算通りとなり、合計 2 億 9965 万 2353 円の収入となった。
2. 支出はイオンカップの参加者増により、宿泊費等経費の増大、競技日程増加に伴い競技関連費用が増加し、予算より支出が増加している。平成 29 年度はイオンカップ参加チームを減少させる方向で進めており、28 年度と同様にはならない見通し。
3. 事業費支出は 2 億 9501 万 7637 円と予算より約 1000 万増加している。
4. 管理費は予算より 200 万増加し、1755 万 8763 円となっている。
5. 事業費支出、管理費を合わせ事業活動支出が 3 億 1257 万 6400 円となっており、収支差額がマイナス 1292 万 4047 円。投資活動、財務活動ともに 0 円なので、そのまま、マイナス 1292 万 4047 円が当期収支差額となった。
6. 貸借対照表、財産目録では、流動資産 156 万 5297 円、固定資産 2162 万 4056 万の資産合計 2318 万 9353 円。流動負債が 17 万 8760 円。正味財産が 2301 万 593 円となった。
7. 小島監事にもご確認いただいた。

(質疑・意見)

質疑・意見は特になかった。

以上の質疑、意見の後、第 2 号議案「平成 28 年度決算報告について」は全会一致で承認可決された。

第 3 号議案 平成 29・30 年度役員について（定款第 3、5 章関連事項）  
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 役員推薦委員会にて別記のとおり、総会にて推薦する理事候補を選出した。委員会での議論の中で AGG 関係者を理事候補として入れるかどうか理事会で図ることとなった。

<役員候補者>

二木 英徳	(現会長)
石崎 朔子	(現副会長)
関田 史保子	(現副会長)
福本 隆	(現副会長)
池田 真喜子	(現専務理事)
山崎 浩子	(現常務理事)
渡辺 守成	(現常務理事)
秋山 エリカ	(現理事)
崇島 慎一	(現理事)
谷口 裕代	(現理事)
谷原 誠	(現理事)
橋本 千波	(現理事)
宮嶋 泰子	(現理事)
守永 直人	(現理事)
村田 愛子	(新・イオン新体操クラブ)
熊谷 正儀	(新・現代議員／仙台ジュニア体育研究所)
小島 浩二郎	(現監事)

(質疑・意見)

渡辺常務理事より、今年度はAGGをクラブ団体選手権の種目のひとつとしているので役員として入れるのは経過を見てからでよいのではないかと意見があった。

石崎副会長より、AGG関係者に理事ではなくサポートしてもらおう形にして、AGGを開催していくなかで理事を考えていってよいのではないかとの意見があった。

2. 役員推薦委員会にて別記のとおり、代議員候補者として推薦する方々を選出した。代議員の役員は20名以上25名以下となっている。

<代議員候補者>

神山 いつか	北上新体操クラブ
比企野 智子	NOVA 新体操クラブ
下野 里香	SATTE 新体操クラブ
三浦 有紀子	PLANET
長野 美智代	ANGEL R. G. CLUB
高橋 美意子	CANDY. M. RG
中村 恵	ジャクパ RG 東京
菊本 幸	ヒューマン RG
飯島 千果	ポップエンジェル RG
滝澤 廣美	シェリーRG
隄 祐子	Twinkle Star RG
本江 睦	マリン
河野 美香	NPO クレスト
美谷島 知子	フェアリーR. G. クラブ
岡本 さおり	アンジュ
北川 礼子	Stella R☆G
高橋 匡子	京都たかはし新体操クラブ
安井 初子	RATU RG
松坂 佳子	ヴェニエラ RG
安達 美佐	西福岡新体操クラブ
田上 美香	R i n R G

(質疑・意見)

関田副会長より何年以上登録していないと代議員になれないとかあるのかと質問があった。守永理事より、加盟者から選出となり、何年以上との規定はないと回答があった。

石崎副会長より東北地方の加盟クラブどれくらいあるかと質問があった。守永理事から各県1から多くて4クラブくらいと登録数が少ないことが報告された。

守永理事より、代議員制度を変える方法もあるが、その際は加盟クラブ全員が社員となることが報告された。その方法は会議運営が難しいので現在の代議員制度を維持することが確認された。

二木会長より、継続して代議員をやってもらうことも検討してはどうかと意見があった。池田専務理事より、以前の総会にて代議員より、多様な意見を取り入れるため代議員を定期的に交代した方がよいとの意見があり、今回全員交代する形で提案することとなった。

以上の質疑、意見の後、第3号議案「平成29・30年度役員について」は提案のとおり全会一致で承認可決された。

第4号議案 平成29年度第1回総会について(定款第4章関連事項)  
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 3号議案までの内容を総会議題とし、平成29年6月21日霞会館(東京都港区西麻布3-2-32)にて開催を計画している。

(質疑・意見)

質疑意見はなかった。

以上の後、第4号議案「平成29年度第1回総会について」の開催を、全会一致で承認可決された。

第5号議案 日本体操協会評議員について(定款第3条関連事項)  
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 日本体操協会の平成29・30年度評議員の推薦依頼がきている。
2. 過去2期は福本副会長にやっていた。
3. 福本副会長は体調を崩されているので新規推薦者を審議願いたい。

(質疑・意見)

渡辺常務理事より、若手に移行することを検討すべき。崇島理事もしくは池田理事を推薦してはどうかと意見があった。また、日本体操協会では、役員女性の比率を上げようとの動きがある事が重ねて報告された。

二木会長より、池田専務理事を推薦してはどうかと意見があった。

以上の質疑、意見の後、第5号議案「日本体操協会評議員について」は池田理事を推薦することで、全会一致で承認可決された。

第6号議案 日本新体操連盟表彰規定について(定款第4条関連事項)  
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 現在加盟クラブを表彰する規定がないため、創設することとなった。
2. 今回の提案は「奨励賞」との名称、10年以上連続加盟、大会への継続出場の加盟クラブを条件としている。

(質疑・意見)

二木会長より、奨励賞はこれからの成長を期待するようなイメージがあるので、別の名称が良いのではないかと意見があった。

石崎副会長より、連盟賞とう名称で、団体向けにしてはどうかと意見があった。

渡辺常務理事より、特別功労賞という名称ではどうかと意見があった。

二木会長より、特別功労賞は功労賞より一段上の賞という印象があると意見があった。

渡辺常務理事より、現在の功労賞を特別功労賞として、功労賞を団体だけとせず個人も表彰できるようにするのはどうかと意見があった。

関田副会長より、功労賞というからには、10年以上というような重きを入れた方が良いとの意見があった。

以上の質疑、意見の後、第6号議案「日本新体操連盟表彰規定について」は現在の功労賞を特別功労賞とする。功労賞を「本会に連続10年以上加盟している者、団体の中から選出することができる」「選手育成や普及への貢献を考慮して選出する」とすることで、全会一致で承認可決された。

第7号議案「その他」について

石崎副会長より、「AGG」を29年度より扱うこととなったが、28年度までにAGG連盟にてジャパンカップという大会を3回開催してきた。その継続として第4回大会分を3月に体育館を抑え開催を予定していた。新体操連盟にて3月の岐阜大会の運営の如何を審議いただきたい。

(質疑・意見)

渡辺常務理事より、団体選手権の中で開催をすることとなったので、ジャパンカップは開催しなくてよいのではないかと意見があった。

崇島理事より、運営的にはその方がすっきりすると意見があった。

二木会長より3回実施している形跡を残せば今までやってきていただいた方にも話ができるのではないかと意見があった。

以上の質疑、意見の後、第7号議案「その他」については日本新体操連盟ではジャパンカップを行わない事、ただし過去の入賞者などの経歴は団体選手権の中に残していくこととで、全会一致で承認可決された。

報告事項1「バッジテスト」について

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 現在谷口理事、秋山理事とバッジテストを進めている。秋以降に7級のプレテストを実施する予定

(6) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事及び指名議事録署名人は次に記名押印する。

平成29年5月23日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 29 年度第 1 回理事会

議事録署名人（代表理事） 二 木 英 徳

議事録署名人（監事） 小 島 浩二郎

議事録署名人（指名） 関 田 史保子

議事録署名人（指名） 橋 本 千 波